

# 養 氣 軒

ようきけん



vol. 79  
2020 Winter

『さわやかな笑顔と思いやりの心で、安心、安全な満足される医療をめざします』  
そのために、患者さんは言うまでもなく全職員ひとり一人を大切にします。

●ようきけんとは「病む人の病のみならず心をも癒すことの出来るところ」という意味です。

## Pick up

# 冬場の感染対策について

2020年新型コロナウイルスが大流行した冬を迎え、インフルエンザ、新型コロナウイルスと共存していく時代になりました。

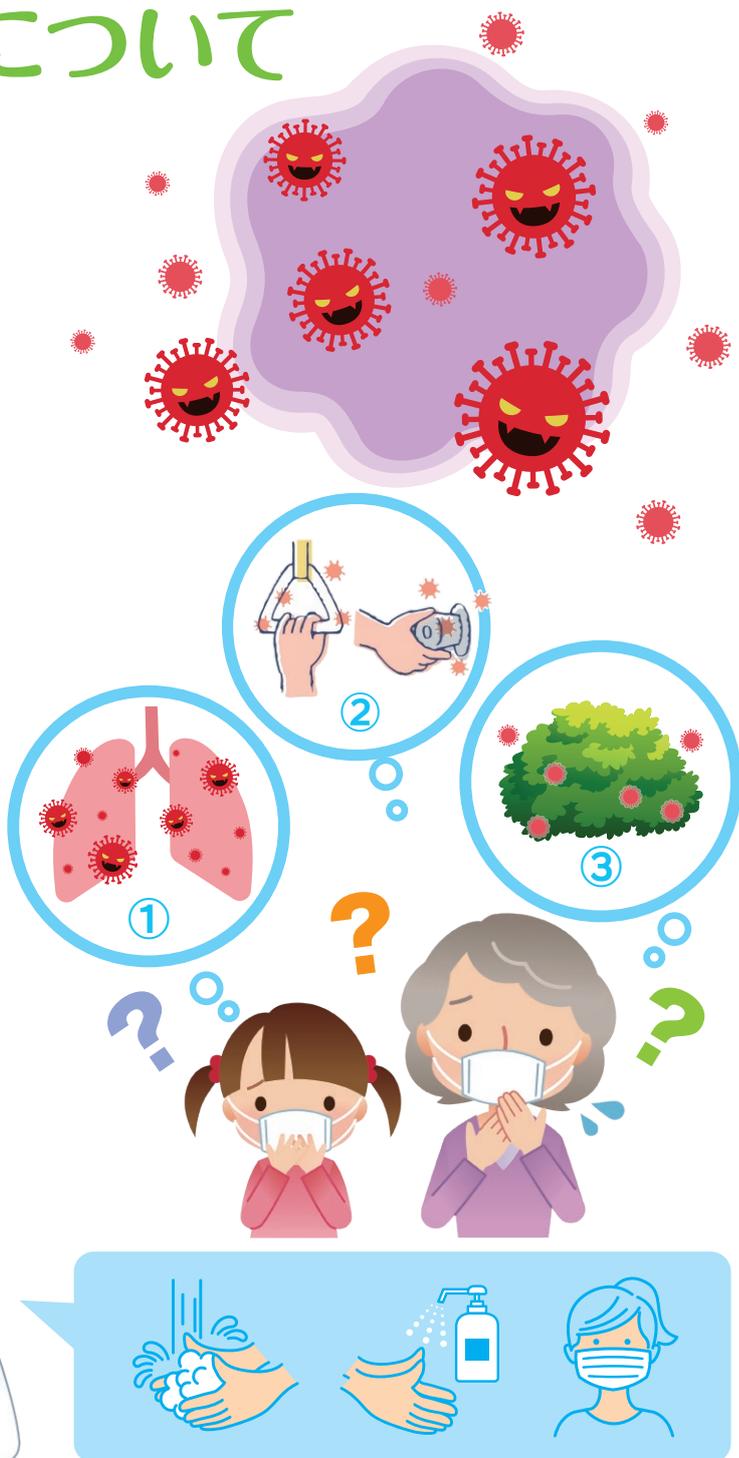
これから紹介する話は、日本赤十字豊田看護大学 下間正隆先生が作成した講義資料から紹介します。さて、**新型コロナウイルスはどこで増殖していくでしょうか??**

- ① 感染した人間の体の中
- ② 電車のつり革やドアノブなど、人が触ったところ
- ③ 草むらのかけ

答えは**①の人間の体の中**だけです。コロナウイルスは、ひとりでは生きていけません。セミより短い、せいぜい3日の命です…。コロナウイルスを運ぶのは人間だけ。

人間の鼻の粘膜や口の粘膜に付着したウイルスがどんどん増殖し感染します。新型コロナ感染者のくしゃみ1回には100万個のウイルスが含まれています。1万個以上が短時間に体内に入ることによって感染リスクが高くなります。他人と十分な距離(1~2m)が取れない時はマスクをしましょう。

手についたコロナウイルスはどうしましょう??手についたコロナウイルスについては、鼻や目、口を触る前に手を洗って洗い流すか、消毒しましょう。(感染対策室) ◀



# 感染予防に対する日々の取り組みについて

看護師長 **中村 佳永子**

6階病棟は、COVID-19流行に伴い、発熱がある患者さんや肺炎、肺結核などの感染症の患者さんを主に受け入れる病棟として、感染予防を強化する取り組みを行っています。

## 【手指消毒】

『1行為ごとの手指消毒』をスローガンとして掲げ、患者さんに接する前後、電子カルテやカーテンに触れた後、正しいタイミングで手指消毒ができているか、感染リンクナースが中心となり、手指消毒の実施状況を週に1~2回確認しています。当病棟の手指消毒遵守率は80~100%と高い傾向にあり、日頃から手指消毒が感染予防の第一歩であることを意識して取り組んでいる結果だと思えます。



## 【個人防護具の着脱確認】

感染症がある患者さんと接する時には、自分自身を感染から守り、また、感染の媒介とならないようにマスクやエプロンなどを着用します。エプロンや手袋を「正しい順番で着脱できているか」チェック表を用いて、病棟内で互いにテストを行っています。定期的な着脱訓練は、スタッフの安心感に繋がり、日々の業務の中で感じる不安を少しでも緩和できるようスタッフ一丸となって取り組んでいます。



このように訓練や教育を重ね、感染予防対策の質を維持し、入院患者さんへ安心・安全な看護を提供しています。

# 内視鏡検査室の感染対策強化について

手術室看護師長 **松尾 多美子**

内視鏡検査は、体の中に高性能のカメラを挿入して胃や腸管の内部を直接観察することで、炎症や潰瘍、腫瘍やポリープ、出血部位の特定など、自覚症状がない場合でも、体の外からでは分からない変化を確認できる有効な検査です。

検査の特徴上、検査中は患者さんと医師・看護師の距離が近くなるのが避けられない部署であるため、感染予防対策として、患者さん側・職員側の双方に防護具を使用しています。

また、検査室内はHEPAフィルターを使用した空気清浄機による空気清浄化・強制換気を行い、安全な検査空間を作っています。

検査前の体調確認を細かく行い、体調不良や感染の危険がある場合は当日であっても検査中止となる可能性がありますので、ご理解とご協力をお願いします。



## COVID-19 UPDATE!

病気の治療のみでなく、早期発見の為に、出来るだけ安心・安全・安楽に検査を受けていただけるようにスタッフ全員で取り組んでいますので、安心して内視鏡室へお越しください。

## 台風10号の対応について

管理課長 **山口 博司**

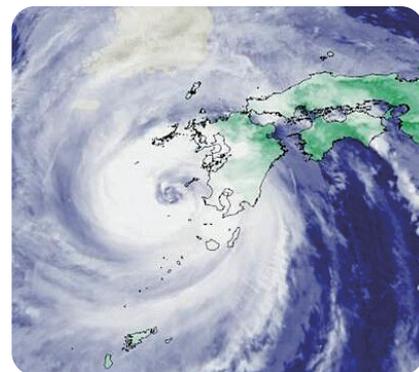
皆さんご存じのとおり、9月6日(日)の深夜から7日(月)の朝方にかけて台風10号が長崎県に最接近し、九州全域に多大な被害をもたらしました。

当院では、6日(日)から対策本部を設置し、緊急連絡体制の確立、院内巡視、万が一、自家発電機が作動しなかった場合に備え、発電機9台を準備し、窓ガラス飛散防止のため養生テープ装着等を行いました。

その甲斐あってか、被害は殆どなく、数か所の雨漏れや数回の停電はありましたが、自家発電機が正常に作動し、準備していた発電機も使用することなく、人工呼吸

器や各部署の機器等への影響もありませんでした。また、入院患者さんの治療・療養に影響を及ぼすようなことはありませんでした。

9月7日(月)は患者さんの安全を考慮し、外来を休診とさせていただきました。患者さんや近隣の医療機関にはご迷惑をおかけしましたが、ご協力いただきありがとうございました。



## 玄関前にプランターを飾りました

教育担当看護師長 **今里 純子**

2020年4月に当院に入職した新人看護師6名は、毎日患者さんやそのご家族のためにさわやかな笑顔で頑張っています。

今回、少しでも患者さんやご家族の癒しになればという思いでプランターに花を植えて、病院玄関前に飾りました。ぜひご覧ください。



## 限度額適用認定証のご利用について

専門職 **国広 直之**

病気や怪我により、医療費の自己負担額が高額になることがあります。その際、「高額療養費制度」により、年齢や所得に応じて定められた限度額を超えた金額が払い戻されることとなりますが、一度多額の医療費を支払う必要があること、ご自身で申請を行い後日払い戻されることとなり、負担がかかるのも事実です。

そこで、予め「限度額適用認定証」の交付を受け、医療機関の窓口へ提示をいただくことで、その月における自己負担額が年齢や所得に応じて定められた限度額までとなります。限度額適用認定証の交付手続きについては、ご加入されている健康保険組合や協会けんぽ、国民健康

保険や後期高齢者医療制度ご利用の方であれば各市町村へお問い合わせください。

なお、限度額適用認定証にかかるご相談等ありましたら、企画課(医事)の窓口へお声かけください。

※(70歳未満の方の自己負担限度額について) 医療機関ごと、入院・外来別、医科・歯科別での取り扱いとなります。  
※入院中の食事代や保険適用とならない費用(差額ベッド代等)については、限度額適用認定の対象となりません。



## 診療科紹介(皮膚科)

皮膚科医師 清原 龍士

当科の外来診療は、火曜から金曜の午前11:00まで新患外来を行っています。また午後からは生検や手術などを行なっています。午後是对応できない場合がございますので、受診希望の方は来院前に電話でご相談ください。

### ①腫瘍切除について

皮膚良性腫瘍及び皮膚悪性腫瘍は水曜日午後には手術をしています。皮弁形成術、植皮術などを行なっています。皮膚のできものなどご相談ください。

### ②熱傷について

体表面積15%未満の軽症は対応可能です。しかし手掌・顔面など部位によっては専門施設での治療が望ましい場合もあります。中等症以上の場合は患者さんの背景や受傷部位、深達度を診て場合によっては専門施設に紹介しています。

### ③光線治療機(ナローバンドUVB)について

当院で施行しています。尋常性乾癬、類乾癬、アトピー



性皮膚炎、尋常性白斑、菌状息肉症、扁平苔癬、円形脱毛症等へ有効性が報告されています。

### ④带状疱疹について

内服で改善がない場合などに入院の上、点滴治療が必要な場合があります。

開業の先生方が、上記のような患者をご紹介下さる場合は、一度お電話でご相談いただければ患者さんの負担が軽減できると思います。

これからも地域医療の発展の一助になるよう努力してまいります。

## 部署紹介(危機管理センター)

医療安全管理係長 藤並 慎之介

危機管理センターは、院内の医療安全と感染予防という大きな役割を担う部署です。

医療安全管理室は、全職員が医療安全の重要性を認識し、安全な医療・看護を提供していくための基本となる”医療安全”を広げ高めていく役割を担っています。今期の目標は、全職員の確認行動の徹底、職員のためのマニュアル作成等を着実に進めていくことです。

感染対策室は、院内で起こる様々な感染症から患者さん、職員の安全を守るための活動を行っています。言



うまでもなくコロナの時代であり、試行錯誤しながら病院、地域の感染予防のために日々努力しています。冬に向けて再び流行の危険性がありますが、今後も職員一丸となってコロナ禍を乗り越えていきましょう。

## 編集後記

副診療放射線技師長 有満 誠

秋季さわやかな良い季節になりましたが、皆様お変わりなくお過ごしでしょうか。例年であれば秋は学会が多い季節です。今年度はコロナ禍の中、ほぼすべての学会が中止または延期、研修やセミナーはweb開催となっています。離れた施設で働く友人たちと、年に数回の学会や研修会で会うことを楽しみにしている

としては少し寂しく感じます。しかし悪いことばかりではなく、web開催であれば今まで受けることができなかった研修も交通費の負担や移動の時間を考えることなく受講できるようになりました。コロナ禍による新しい仕事・生活・学びのスタイルを受け入れ、「特別な秋」を乗り切れるよう精進したいと思います。